

とやま

1999
10
No.368

県広報とやま

富山県



みんなで応援2000年国体

特集／北東アジアの飛躍に向けて、NEAR21



女性も家庭大工、男性も料理や育児。やってみれば結構楽しいですよ。(サンフォルテ家庭大工サークルの皆さん)

TOPICS [トピックス] 1

特集
北東アジアの飛躍に向けて、
NEAR21 3

CLOSE UP [クローズアップ]
みのりある男女協同社会をめざして 7

とやま感動案内
とやま健康の森「グリーンパーク吉峰」 9

地域をつくる仲間たち〈人物カフェ〉
若者たちのネットワークを広げる大学生 徳村裕介さん 11

教えて健康パークQ&A 13

行ってみよう情報 14

とやま音のある風景
菅沼合掌集落の虫の声と庄川のせせらぎ 15

■県内の小学五・六年生四十五名が社会の一員として自分たちの将来や郷土について話し合う「子どもとやま県議会」が、昨年引き続き続いて行われました。

■七月下旬の委員会活動に続いて、八月十一日には県議会議事堂で本会議が開催され、子どもたちは、「スポーツや文化についての電話相談があればよい」

子どもとやま県議会

8月 11日



本会議で意見発表する子ども議員

次代を担う子どもたちのために
二十一世紀を担う子どもたちが心豊かでたくましく健やかに成長していけるように、この夏、さまざまな事業が実施されました。

つかけや出会いづくりの取り組みを考えよう」こみを含んでだけでなく、捨てないクリーン作戦を広めよう」県民リサイクルの日をつくる」などの意見や提言を発表しました。

環日本海 子どもフォーラム

8月 22日

■対岸諸国と富山県の子どもの間に、共通のテーマについて語りあつことを通じて国際感覚を育んでもらおうというフォーラムが初めて開催されました。



中国の子どもたちによる意見発表

自然の素晴らしさを
実感
ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'99

8月 19日



グランプリを獲得した「真性粘菌の生活史」

■メイン会場となる富山市民プラザに設置された五つのシアターと高岡・黒部のサテライト会場では、最終ノミネートされた二十二作品を中心に上映。最終日には授賞式が行われ、「真性粘菌の生活史(日本)」がグランプリを獲得しました。

■このほか、素潜りの元世界記録保持者ジャック・マイヨール氏の講演や、映画監督の羽仁進氏による動物セミナーなども行われ

から二十一日まで開催されました。

■このフェスティバルは平成五年から隔年開催されているもので、四回目の今回は世界各国から三百二十八作品の応募がありました。



たくさんの観客でにぎわった会場

会期中は、延べ約三万五千人の観客でにぎわいました。

■ひたむきな生命の営みが映し出された映像に触れることを通じて、自然保護への関心が高まることを期待されます。

●問合せ 県庁広報課
076(444)3134

■八月二十二日に県民会館で開催された会議には、中国、韓国、ロシアから十二人、県内から五十人の中学一年生が参加。「学校でのストレス解消」や「友達とのけんかやいじめへの対応」などについて活発な意見交換を行い、最後に、二十一世紀は私たちの時代であり、私たちがつくっていくかなければなりません」など五項目からなるアピールを採択しました。

十二歳立山登山

8月 23日

■子どもから大人へのターニングポイントといわれる十二歳の子どもの心に自然の素晴らしさや厳しさを体感してもらい、大人への自覚を高めてもらおうという「十二歳立山登山」が、八月二十三日と二十四日の二日間開催されました。

■一日目は、立山博物館で立山の自然や歴史について学んだあと、弥陀ヶ原で、厳しい自然環境の中で生きる高山植物などを観察。夜には宿泊先の立山荘に国際的な数学者ヒーター・フランクさんを迎え、夢を語りあいました。

■二日目は、強い風雨のため、雄



高山植物についての説明を聞く子どもたち

山登山を中止して室堂付近を散策。雷鳥に出会う幸運に恵まれたものの、冬のような寒さの中、山の厳しさに接した子どもたちは、自然に対する畏敬の念を感じたようでした。

子どもたちは、普段の学校生活では味わえない体験を通して、自信や友情など未来に向けた可能性を手に入れました。県では、引き続き、子どもたちの健全な成長のための施策に取り組んでいきます。

●問合せ
子どもとやま県議会「十二歳立山登山」
県教育委員会生涯学習室
076(444)3436
環日本海子どもフォーラム
県庁児童家庭課
076(444)3208

県有地を一般向けに売却します。

■県では、公共的な利用が今後見込まれない県有地を県民の皆さんに売却することになりました。

■これは、厳しい財政状況の中で、財源を確保することが主なねらいで、県有地を広く一般向けに売却するのは、今回が初めてです。

■主な売却予定地は、富山公共職業安定所跡地、県職員用テニスコート、運輸省職員宿舍跡地(以上富山市)、警察職員宿舍跡地(高岡市伏木)、駐在所跡地(新湊市、上市町)などです。

■売却面積、建築条件、購入手続きなどについては左記までお問い合わせください。

●問合せ
県庁管財課
076(444)3172



県職員用テニスコート(富山市西田地方)

シリーズ
とやま20世紀

1933 昭和8年10月8日(日)

空の時代の幕開け
富山飛行場が開場

婦負郡倉垣村(現:富山市布目)で建設が進められていた県営富山飛行場が完成し、この日、開場式が挙行された。翌年5月には、全国初の地方航空路線として東京便が就航、名古屋と大阪への路線も開設されたほか、満州や朝鮮への路線の構想もあった。飛行場は、富山県を「対岸との交通通商の中心地たらしむ」ことによって「本県繁栄の一大基礎」を築くものとして大きな期待を集めたのである。しかし、やがて太平洋戦争が勃発。飛行場は軍用化され、敗戦後は農地に還元されてしまった。富山県に再び空の時代が訪れるのは、現在の場所に富山空港が開港した1963(昭和38)年、対岸諸国への航空路線としてソウル便が実現するのは1993(平成5)年のことである。

開発、流通販売に至るまで総合的に支援していきます。

■富山県産業高度化センターは、インターネットによる商品情報の発信などを通して業務支援を行います。また「高岡市デザイン・芸芸センター」は、高岡の伝統技術を生かしてクラフト製品の開発などを行います。

■三施設共通の愛称は「サン・センター」。三つの施設が連携して、地域の産業を太陽のように明るく照らしていきたいという願いが込められています。

●問合せ 県総合デザインセンター
076(66)0510

富山県総合デザインセンター

開場当時の富山飛行場

本誌は古紙100%の再生紙を使用しています。

有機的な結びつきを持つ
NEAR21の
五つのキーワード



**交流拡大に向け
期待を集めるNEAR21**

NEAR21は、北東アジア地域の経済交流を活性化させて、新たな地域経済圏が形成されるきっかけにしようと、富山県、日本貿易振興会（JETRO）及びNEAR21推進会議が開催する総合的な経済交流イベントです。

展示商談会、投資環境説明会、対岸諸国の情報を提供するシンポジウムなど、さまざまな催しが予定されており、北東アジア地域の「人」「もの」「情報」が、文字どおり一堂に会します。中でも目玉となるのが、今回初めて行われる、中国、モンゴル、韓国、ロシアの企業による展示商談会です。出展企業は、当初の予想を大きく上回る

約一六〇社を数え、北東アジアの経済交流に対する関心の高さがうかがわれます。

**地方自治体の役割が大きい
北東アジアの経済交流**

北東アジア地域の交流は、地方レベルの交流が進んでいる点に特徴があります。

一九九六年（平成八年）には、この地域の自治体による交流・協力ネットワークを形成して地域全体の発展と平和をめざそうという「北東アジア地域自治体連合」が設立され、現在、日本・中国・モンゴル・韓国・ロシアの五カ国三十四自治体が参加しています。

富山県は現在、同連合の議長県であるとともに、環境分科委員会等のコーディネート自治体を務めています。同連合では環境と並んで経済交流に対する関心が高く、昨年十月に富山で開催された「北東アジア地域自治体会議'98」においても、商談・交流の機会の提供が提言されました。

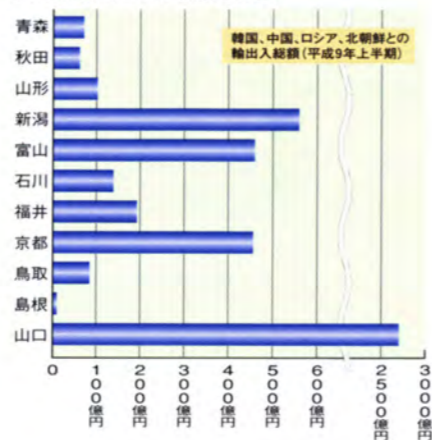
NEAR21は、この提言に沿う形で富山県が提案したもので、地方主導で進む北東アジア経済圏実現に向けた取り組みの第一歩といえます。

■富山県との対岸諸国との経済交流

●定期航空路	●進出企業数(事業所を含む)
ソウルへ……………週4便	中国……………41社
大連へ……………週2便	韓国……………18社
ウラジオストクへ…週2便	ロシア……………4社
●定期航路	合計……………63社
釜山へ……………週4便	出所:「富山県企業の海外事業所調査」
大連(青島・上海)へ…週1便	(財)とや国際センター
ポストチヌイへ…月1便	



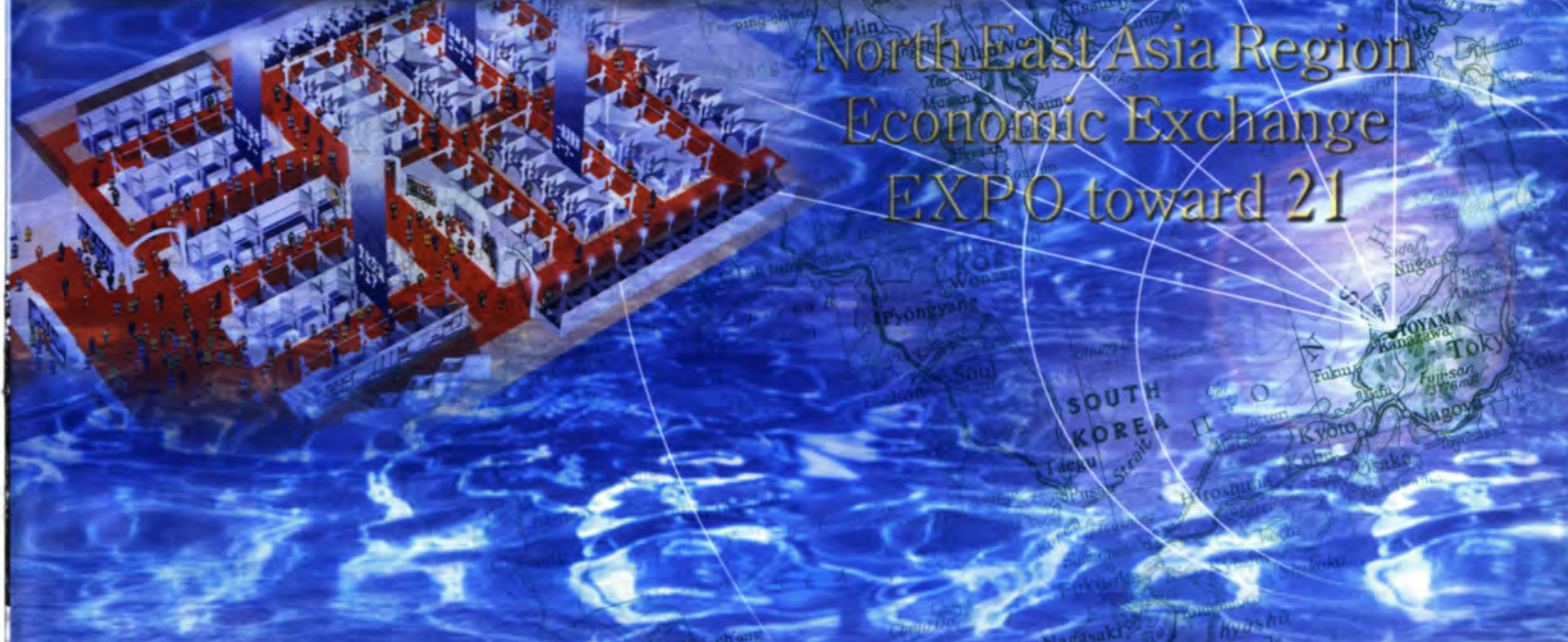
■対岸諸国との貿易額の比較



NEAR21

特集

North East Asia Region
Economic Exchange
EXPO toward 21



北東アジアの飛躍に向けて、NEAR21

※NEAR21は「North East Asia Region Economic Exchange EXPO toward 21」の略称です。

日本海など北東アジアの地図を眺めてみてください。富山県が、その扇の要に位置していることがわかります。10月13日から15日までの3日間、富山市のテクノホールをメイン会場に開催されるNEAR21(北東アジア経済交流EXPO)は、この地域を対象とする初めての総合的な経済交流イベント。北東アジアが21世紀に大きく飛躍するきっかけとして期待されます。今月の特集では、このNEAR21についてご紹介しましょう。

発展の可能性を秘めた
北東アジア

北東アジア地域(日本・韓国・北朝鮮・中国東北部・ロシア極東地域・モンゴル)は、豊かな資源、質の高い労働力、高度な技術などに恵まれており、お互いの特徴を補完しあうことで、新たな地域経済圏として発展する可能性が大きいと期待されています。

ただ、この地域では、国によって習慣や諸制度が異なることや、企業情報などの収集が難しいことなどが、経済交流の拡大を妨げる要因となってきました。

北東アジア地域が、二十一世紀において大きく飛躍するためには、一層の貿易拡大、投資の促進、人材・技術の交流、そしてビジネスを進めるために必要な情報の交流が必要です。



NEAR21は、いずれの催しも入場無料です。新しいビジネスチャンスを見いだそうという方や、北東アジアの交流に関心のある方の入場をお待ちしています。

企業の皆さんへ

NEAR21は、これまで収集が難しかった対岸諸国のビジネス情報を手軽に収集できる絶好の機会です。ぜひNEAR21に参加して、これから発展が期待される北東アジアでのビジネスチャンスをつかんでください。

県民の皆さんへ

NEAR21では、文化交流フェアやシンポジウムなど、一般の方に関心を持っていただける催しも開催されます。どうぞお気軽にご来場いただき、北東アジア地域のダイナミズムに触れてみてください。

●問合せ・ご意見は、
NEAR21 インフォメーションセンターへ
☎076(432)1083 FAX076(444)7903
詳しい情報はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1302/kannihon/index.htm>

北東アジア文化交流フェア

対岸諸国各地域の文化・観光・産業などを紹介、今まで知らなかった北東アジアと出会えます。

日時/10月13日(水)~15日(金)
午前10時~午後5時(最終日は午後3時まで)
会場/テクノホール大展示場

NEAR21デザイン展

中国、韓国、日本のバラエティー豊かな魅力あふれるデザイン作品を紹介します。

日時/10月12日(火)~26日(火)
午前9時~午後5時
会場/富山県産業高度化センター
(高岡市オフィスパーク内)

<記念フォーラム>

テーマ/中国、韓国、日本のくらしとデザイン

日時/10月12日(火)
午後1時~5時
会場/富山県産業高度化センター

●いずれの催しも入場無料

会場のご案内

会期中は富山市内の各会場を結ぶ無料シャトルバスを運行します。

■経路

富山駅前(日通前)~富山国際会議場~テクノホール~富山空港
※航空ダイヤに合わせて経由

■時間

富山駅前発 9:30~16:30(約20分間隔)
テクノホール発 10:50~18:30(約20分間隔)

■富山県産業高度化センター



■テクノホール(富山産業展示館)



■富山国際会議場「大手町フォーラム」



北東アジア経済交流シンポジウムinとやま

21世紀の北東アジアを舞台としたビジネス交流の展開をテーマに、具体的なビジネスチャンスを探ります。

日時/10月13日(水)
午後1時30分~4時45分
会場/富山国際会議場「大手町フォーラム」

北東アジア・エネルギーシンポジウム

北東アジアのエネルギーと環境をテーマに、天然ガスの利用可能性など21世紀に向けたエネルギー開発の展望について話し合います。

日時/10月15日(金)
午後1時~5時30分
会場/富山国際会議場「大手町フォーラム」

**海外事業展開支援セミナー
海外人材育成促進セミナー**

海外への事業展開を支援する各種機関による説明会。「あればいいのに」と思っていた支援制度が見つかります。

日時/10月15日(金)
午前9時~午後4時30分
会場/テクノホール会議室



NEAR21展示商談会

北東アジア4カ国からの出展による初めての展示商談会。160もの企業の商品が一堂に会します。会場には、無料の通訳も配置。また、海外の出展企業のニーズと日本企業のニーズを事前に調整する「事前マッチング方式」が採用されるなど、商談が効果的に行われるよう配慮されています。

日時/10月13日(水)~15日(金)
午前10時~午後5時(最終日は午後3時まで)
会場/テクノホール大展示場

【出展内容】

- ◆部品・資材コーナー
一般機械・部品、電気・電子機器・部品、輸送機械部品、建築資材など
- ◆一般消費財コーナー
食品、衣類、雑貨、木製品、石材製品、冶金製品など
- ◆投資・技術コーナー
投資・技術交流案件の紹介

区分	中国	モンゴル	韓国	ロシア	計
出展地域	黒龍江省吉林省、遼寧省、河南省、山東省など	ウランバートルなど	江蘇省、遼寧省、山東省、重慶市など	サハ共和国、沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、カムチャッカ州、マガダン州、ユダヤ自治州、ノシビルスク州、極東ザバイカル協会など	
部品・資材	19社		24社	14社	57社
一般消費財	27社	6社	31社	14社	78社
投資・技術交流	15社		3社	7社	25社
計	61社	6社	58社	35社	160社

北東アジア投資環境説明会inとやま

対岸諸国の経済情勢、投資環境、投資優遇政策などについての説明会と進出企業による事例紹介。刻々と変化する投資環境が分かります。

日時/10月14日(木) 午前10時~午後5時
会場/テクノホール会議室
※遼寧省の説明会は、10月13日(水)午後5時~6時に富山国際会議場多目的会議室で開催します。

富山県は、産業の構成が、電子・機械・金属・プラスチック・漆器など、広い範囲にわたっています。対岸諸国との定期航空路線や定期航路も充実していますので、経済交流の拠点としての条件がそろっています。その意味でNEAR21は、北東アジアの発展のきっかけであるとともに、富山県にとっても、この地域の経済交流の中核拠点として発展するきっかけになると思います。これからも、官民あげて北東アジアの経済交流拡大に取り組んでいきたいですね。



うつきひろし
宇都木 博さん
日本貿易振興会(ジェトロ)
富山貿易情報センター所長

NEAR21は富山にとっても大きなチャンス

NEAR21 EVENT INFORMATION

みのりある男女協同社会をめざして

男女が社会のあらゆる分野に平等に参画し、個性と能力を十分に発揮できる「みのりある男女協同社会」を実現するため、県は平成九年に「とやま男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな施策に取り組んでいます。ここでは、プランの四つの基本目標ごとに、その進み具合を検証してみます。

男女協同社会
他県では「男女共同参画社会」という言葉を使っていますが、本県では、より多くの力を合わせ、気持ちを一つにして取り組むという意味で「男女協同社会」という言葉を使っています。

基本目標 III 働く場における男女平等の確保
女性の働く権利を尊重し、男女が互いにパートナーとして向き合うことを通して、働く場における実質的な男女平等を確保する。

重点課題 職場と家庭・地域での生活との両立支援

働く男女が育児や介護などの家庭生活の時間を確保し、共に担えるようにするため、労働時間の短縮や職場中心意識の変革をめざしています。

■とやま男女共同参画プランの目標と進捗状況

項目	進捗状況	プラン策定時	現在の状況	達成率	目標(平成12年度)
労働時間の短縮(年間)※1		1,933時間(平成7年)	1,913時間(平成10年)		1,800時間
高齢者福祉の充実	ショートステイ	506床(8年3月)	664床(11年3月)	92.2%	720床
	老人デイサービスセンター	55施設(8年3月)	80施設(11年3月)	80.0%	100施設
	特別養護老人ホーム定員	2,385人(8年3月)	2,845人(11年3月)	93.9%	3,030人
	ホームヘルパー(常勤換算)	411人(8年3月)	512人(11年3月)	65.8%	778人
子育て環境の整備	延長保育(概ね7時から18時を超えて行う保育)	84カ所(8年度)	110カ所(11年3月)	78.6%	140カ所
	低年齢児(0~2歳児)保育	5,454人(7年10月)	6,842人(10年10月)	94.6%	7,230人
	一時的保育	19カ所(8年度)	39カ所(11年3月)	86.7%	45カ所
	放課後児童クラブ数	61カ所(8年度)	71カ所(11年3月)	71.0%	100カ所

※1 平成10年度の県内の年間総労働時間は1,913時間となっており、目標の達成は厳しい状況です。労働時間短縮に向けた気運の一層の高まりが求められます。

※2 県では、高齢者等の介護を社会全体で支援していくための基盤整備や介護サービスの充実に取り組んできています。県民の皆さんも、これらのサービスが必要になった場合には積極的にご利用ください。

基本目標 IV 健康づくりと福祉の向上
男女が健康で生きがいを持ち、いきいきと生涯を送ることができる長寿社会を築くとともに、育児や介護の負担を社会全体で支援する。

重点課題 高齢者福祉の充実

高齢者等の介護を担っている女性の負担を軽減するため、ホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービスなど、介護支援体制の充実に努めています。

重点課題 子どもを健やかに育てられる環境の整備

育児と就労を両立できるようにするため、保育サービスの充実や地域における子育て支援など環境の整備に努めています。

男女がともに幸せであるために！
一人ひとりの実践が男女協同社会を実現する力です。

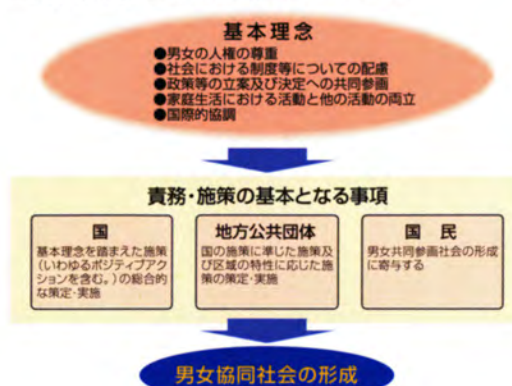
プランでは、このほかにもさまざまな計画目標を設定しており、県では、その実現をめざして引き続き努力していきます。

ただ、よく言われるように、男女共同参画を阻む大きな障害のひとつは「男は仕事、女は家庭」という、長い時間をかけて形づくられてきた固定的な役割分担意識。その意味では、計画推進の主役は皆さん一人ひとりであるといえます。今年六月に公布・施行された「男女共同参画社会基本法」では、「国」「地方公共団体」とともに「国民」の責務が規定され、すべての国民が社会のあらゆる分野で男女共同参画に努めるよう定められました。

男女が共に能力を発揮し、喜びも責任も分かち合う社会は、女性ばかりでなく男性にとっても幸せな社会です。皆さんもぜひ、これまで当たり前と思っていた社会通念や慣習を見直して、できることから男女共同参画に取り組んでください。

●問合せ・ご意見は、
県庁女性青少年課まで
☎076(444)3137
FAX 076(444)3479

■男女共同参画社会基本法のイメージ



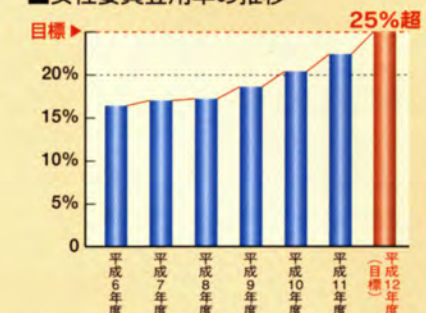
男女共同参画推進員の活動に協力を！
県では、プランを一人でも多くの皆さんに理解し、実践していただくため、各小学校区に「名づつの男女共同参画推進員を配置しています。皆さんも、推進員が実施する講演会や講座に気軽に参加してください。きっと、男女協同社会が男女を問わず住み良い社会であることが理解していただけます。

基本目標 I 男女共同参画による豊かな社会の創造
女性が男性とともに社会のあらゆる分野に参画することを通して、生活者の視点やニーズが反映された住み良い豊かな社会の実現をめざす。

重点課題 政策・方針決定の場への男女共同参画

管理的部門や指導的地位への女性登用の一環として、「県の審議会等の女性委員の割合を平成12年度末までに25%を超えるようにする」という目標を設定しています。

■女性委員登用率の推移



今年6月現在の女性委員登用率は22.4%で、全国的に見て高い水準にあります。県では引き続き、目標達成に向け、努力していきます。

重点課題 男女協同社会推進体制の整備

県民自らが主体的に男女協同社会の実現に向けて取り組んでいく活動拠点として富山県女性総合センター(サンフォルテ)を設置し、女性のエンパワーメント(意識と能力を高め、発言し、行動していくこと)や、男性の理解促進のための事業を展開しています。



身の回りの物を自分で作るノウハウを学ぶ家庭大工サークル

富山県女性総合センター(サンフォルテ)

主な事業予定

10月9日(土)

男性生活講座

男性の生活自立
対象/県内在住の男性

期 間 [全4回]
10/23(土)、11/6(土)、11/20(土)、11/27(土)

申込締切 10月9日(土)

ふたりの子育て応援講座

対象/原則として幼児を持つカップル

日 時 10月30日(土) 14:00~18:30

申込締切 10月16日(土)

サンフォルテでは、この他にもいろいろな事業を開催しています。お気軽にご参加ください。
●問合せ ☎076(432)4500

基本目標 II 男女共同参画を進めるための意識づくり
男女の役割を固定的にとらえる考え方や社会習慣を解消し、一人ひとりの個性が尊重され多様性が認められる社会の実現をめざす。

重点課題 学校教育の中での男女平等

人格形成に大きな役割を果たす学校教育において、男女共同参画の意識づくりを進めています。

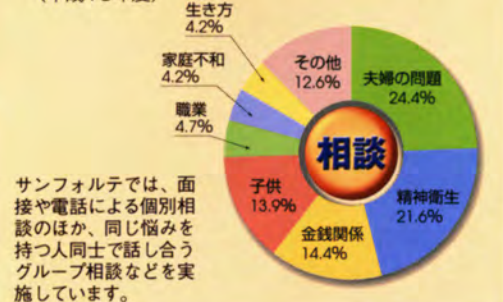


県では高校生向けに作成した副読本を、家庭科などの補助教材として活用していきます。

重点課題 人権としての性の尊重

暴力等の問題や悩みを抱える女性に対する相談・助言・支援の充実に努めています。

■サンフォルテ相談室で受けた相談内容(平成10年度)



サンフォルテでは、面接や電話による個別相談のほか、同じ悩みを持つ人同士で話し合うグループ相談などを実施しています。



隣接する林業試験場の実験林。遺伝子の採取などを行っている。



丸太でつくった箸や滑り台など遊具がいっぱいの「冒険の森」。子どもたちの人気スポット。



家族や友人とアウトドアを満喫できるオートキャンプ場。各サイトに水場があるので快適。



「展示ハウス」では、小物からテーブルまで、さまざまな木工品を展示・販売している。



森の中のバーベキューは、ひときわ楽しい。350人まで収容でき、県内最大規模を誇る。



よしみねハイツ内のレストラン柳水では、立山薬膳料理が食べられる。有機米コシヒカリを使うなど、素材も吟味されている。



天然温泉100パーセントの「ゆーランド」。無色透明の単純泉で、疲労回復などに効果がある。



ハーブ園では、ラベンダーやタイムなど13種のハーブを栽培している。

グリーンパーク吉峰

30万坪の豊かな森に、レジャー・宿泊施設が点在する自然体験パーク。グリーンツーリズム事業として、平成2年から整備が始まり、9年にグランドオープンした。今年4月に、「とやま健康の森」に指定。宅地の造成も行われ、都市部と農村部の交流を図る拠点となっている。県の林業普及センターや林業試験場、樹木園などが隣接しており、遊びながら森と自然に親しむことができる。

営業時間/よしみね交流館 午前10時～午後6時
ゆーランド 午前10時～午後8時30分
バーベキュー広場 午前11時～午後8時
展示ハウス 午前10時～午後5時
利用料金/よしみねハイツ 宿泊9,000円～
コテージ1棟 11,500円
オートキャンプ場 3,000円～
ゆーランド 大人600円 小人300円
パークゴルフ 大人600円
休業日/年中無休(ただし、オートキャンプ場、
バーベキュー広場、セットハウス、展
示ハウスは、12月～3月冬期休業)
問合せ/☎076(483)2828
ホームページ/http://www.yoshimine.or.jp

■電車で 富山地方鉄道岩崎寺駅から徒歩20分
■自家用車で 北陸自動車道立山ICから20分
グリーンパーク吉峰からプレゼントがあります。詳しくは13ページをご覧ください。



森の空気には、パワーがいっぱい。
気持ちのいい自然を体験しよう。
遊ぶ、つくる、食べる、ふれあう緑のフィールド。



遊歩道にあるアーバートワーからは、日本海や立山連峰が一望できて、気分爽快。



とやま健康の森
「グリーンパーク吉峰」



別荘感覚で宿泊できるコテージ。内部はバリアフリー設計になっている。



誰もが気軽にできるパークゴルフ。2000年国体のデモンストレーション競技にもなっている。



「よしみね交流館」では、農産物や民芸品などを販売している。月替わりで企画展示も行っている。



木工製作が体験できる「モックよしみね」は人気が高い。ミニチュアの椅子やミニプランターなどをつくることができる。



喫茶カモミールの自家製パウンドケーキはハーブ入り。添加物を使わない自然の味。



心と体が軽くなる、森の中の体験パーク。

見渡すかぎり緑が続き、見ているだけで心がすがすがしくなるような森。その中に広がるグリーンパーク吉峰は、「森を体験する」「木を体験する」「自然の食を体験する」の三つをキーワードに展開されている。

「森の体験」とは森林浴のこと。森の中を歩くと、疲れがとれて、さわやかな気分になる。これは、樹木から発散されるフィトンチッドという成分を呼吸するため。特別なことをしなくても、ここにいるだけで森林浴ができ、知らないうちに心も体もリフレッシュしているのだ。

もつと積極的に森を体験したい人は、フィールド内につくられた遊歩道を散歩しよう。いろいろなコースが選べて、迷わないように設計されている。運がよければ、ギフチョウやカモシカと出会うこともある。

木と親しむ、自然と親しむ。

「木の体験」は、木工製作を楽しむ、木と親しむこと。木工加工場「モックよしみね」では、立山杉の間伐材を利用して木工品を製作できる。建物はログハウスになっており、木の香りに包まれながら、小物などをつくる楽しみを味わえる。

「よしみねハイツ」では、葉草を取り

入れた立山薬膳料理のメニューが用意されており、日帰りでも気軽に「自然の食を体験」できる。また、「よしみね交流館」の喫茶カモミールでは、ハーブ入りのケーキやお茶が人気メニュー。自然の力が体の中に溶け込んで、不思議に元気になってくるよ

アウトドア派もリラックス派も自分流で楽しめる。

グリーンパーク吉峰へは、たっぷりの時間と遊び心を持っていこう。思いきり遊ぶ、ゆったりする、自然とふれあう。それらをかなえてくれる場所なのだから。オートキャンプやバーベキューもできるし、スポーツ派はパークゴルフ、子どもたちはアスレチックの冒険の森で歓声を上げている。もちろん、自然の森がいちばんのプレイゾーンだろう。

天然温泉でのんびりしたり、コテージで宿泊してゆっくり時間を過ごしたり、思い思いに楽しめる。

森に来ると、開放感や見えない森の力が、爽快感を与えてくれる。自分の中の何かが新しくなる感じがする。それは、私たちが忘れていたものかもしれない。

ここは、森とまちの交流を生み出すパーク。自然の心地よさを五感で感じてしまった人は、きっと何度でも訪れるだろう。



いろいろな人と出会って、いろいろな考えを知りたい。

「自分たちが楽しめない、相手も楽しくないと思うんです。だからイベントは楽しんでやっています」と語る。軽やかな思考をもった自然体の委員長だ。

を発見し、そのエネルギーで地域を活発にしていこう。徳村さんたちは、今年度から、一般の人々も対象にして企画を行うことにした。実行委員会の名称は「Power of Tomorrow」、略称POT。徳村さんは、実行委員長という立場だ。「イベントをつくりあげていくのが好きなんです。自分たちも楽しんで、参加者も楽しめる企画にしたいと思っています」。徳村さんたちが考えたのは、三回のイベント。第一回は、「逢いたい知りたいたい見つけたい」というテーマで、参加者を募集し、キャンプやオリエンテーリングなどを通して交流を深めようとするもの。すでに、八月の終わりに富山市こどもの村で開催された。「参加した人から、今まで交流のなかった人と出会えてよかったという感想をたくさんもらいました」。第二回は、世界のお菓子づくりを体験しながら、外国人と意見交換し、視野を広げていこうというイベントである。そして第三回で、もっと自分たちのまちをよくするにはどうしたらいいかを考えようとしている。具体的にはまだ企画中だが、一回ずつステップアップしていく内容になっている。

Power of Tomorrow
第三回
とき/十一月十三日(土)・十四日(日)
会場/二上青少年の家
●問合せ/富山県女性青少年課
☎076(444)3136

「明日の力」になろう
「富山も石川も一緒だと思ってるんです。暗いイメージで見られますよね。でも、若い世代が県内に残って、そのエネルギーを活発にしていって、来年も、富山のどこを変えたいかというワークショップを行ったが、そこでもいろいろな意見が出た。「僕は、いろいろな人が暮らしたい。まちが、いいまちだと思っと思っています。そのためにも、心がバリアフリーになることが大事なんです」。まちについても、生き方についても、価値観が多様になってきた。だから、いろいろな人と出会い、何かを発見したり、考えを広げたりすることが大切になってくる。「POTに参加した人たちが、自分たちのやりたいことを見つけて、新しいグループが生まれればいいなと思っています。僕たちは、そのサポートをしているんです」。徳村さんたちは「明日の力」を生み出そうとしている。そして、彼自身もまた「明日の力」なのだ。

カフェ
人物cafe



若者たちのネットワークを広げる大学生

徳村 裕介さん
(とくむらゆうすけ)

1977年生まれ
富山市在住
Power of Tomorrow実行委員長

PROFILE

石川県生まれの富山大学教育学部4年生。1997年、HAVOTのメンバーとなり、ボランティア活動を始める。昨年、とやま若者ネットワーク推進交流事業に参加し、今年には実行委員長として活躍。ボランティアや地域づくり活動を行う一方、小学校の教師をめざして、勉強にも一生懸命に取り組んでいる。



ホームページを開設し、インターネットでもネットワークを広げている。(上) POT第1回のイベント。アイスブレイキングという、打ち解けるためのゲーム。(中) 毎月発行しているHAVOT伝言板。活動の報告や予定が書かれている。(下)

もっといろいろな人と会いたい、何かを発見したい。若者たちのそんな思いをかたちにする活動がある。とやま若者ネットワーク推進交流事業「Power of Tomorrow」である。徳村さんは、その実行委員長をつとめ、イベントの企画・運営に携わっている。「いろいろな人と知り合うことで、考え方が広がっていくんです」と、徳村さんは出会うのすばらしさを語る。彼は、阪神大震災を機に結成されたボランティアグループHAVOT（阪神淡路大震災ボランティアオアとやま）のメンバーでもある。社会への関心を高めた若者たちのネットワークは、やがて地域をつくる力になっていく。

動き出せば、出会いが広がる
「何かしたいけど、何をしたいのかわからない若い人たちが増えていっていると思います」。徳村さん自身も、富山に来てしばらくは普通の大学生だった。友人に誘われて、ボランティアグループHAVOTのメンバーになったのは、二年生の夏。HAVOTは、西宮市の小学校にチューリップを植えに行ったり、障害者のスキー大会のボランティアをしたり、また、デイケアハウスの訪問なども行っている。活動を始めて気がついたのは、人との出会いが自分を高めてくれるということ。「いろいろな人を知ると、自分の考えが広がるんです」。


逢いたい、知りたい、見つけたい
何かやりたいと思っっている人、出合いを広げたいと思っっている人は、もっとたくさんいるはず。そんな人に参加を呼びかけて、自分
そんな徳村さんは、昨年、とやま若者ネットワーク推進交流事業に参加した。これは、若者たちの輪を広げ、地域づくりにつなげていこうと、県と実行委員会が行っている事業である。昨年は、各団体に呼びかけて、交流やワークショップなどの企画を行った。徳村さんは、HAVOTのメンバーとしての参加だったが、何かを始めることの大切さ、出会うことのすばらしさを感じていたこともあり、自然な気持ちで参加した。

近代美術館

99公募：日本海美術展
 [10/24(日)まで]
 日本海沿岸地域の作家による公募展。
 一般 700円/高・大 500円/小・中 350円

現代日本美術の動勢
 インダストリアル・デザインの新風景
 [10/30(土)~12/12(日)]
 一般 900円/高・大 650円/小・中 450円

9:30~17:00
 月曜(10/11は開館)・祝日の翌日
 常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円




立山博物館

特別企画展「立山に奇草を求めて」
 [10/2(土)~11/3(祝)]
 一般 100円/高・大 80円/小・中 50円

山岳映像イベント'99
 [10/23(土) 16:00~18:00] 入場無料
 大正末期から昭和初期の立山・黒部の様子を
 映画解説やトークを交えて紹介します。
 会場/県民小劇場オルビス(富山駅前マリエ7F)
 講師/塚本福治郎氏・羽田栄治氏

9:30~17:00
 月曜(10/11は開館)・祝日の翌日
 一般 650円 高・大 400円 小・中 250円




とやま健康パーク

プロジェクトアドベンチャー講座
 [10/9(土)・23(土) 13:00~16:00]
 木と木の間にロープやワイヤーケーブルを張
 って設置したコースが「冒険」フィールド。
 500円

保養地講座(山田村コース)
 [10/13(水)~15(金)]
 温泉浴、森林浴、健康パークでの体力づくり
 のセット企画。22,000円

月曜(10/11は開館)・10/12
 健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)
 1日 1,800円/2時間半 1,500円/1時間 1,000円



中央植物園


きのこの相談会
 [10/10(祝)・11(休)] サンライトホール
 きのこについての相談や野生のきのこの展示。

植物園オリエンテーリング
 [10/17(日) 10:30~12:30]

親子植物教室「どんぐりで遊ぼう」
 [10/17(日) 9:00~16:00] 要申込(無料)

熱帯雨林植物室と熱帯果樹室は、点検・整備のため入室
 できません。なお入園料は通常の半額となっています。

9:00~17:00 木曜・祝日の翌日
 一般 300円 小・中 150円




海王丸パーク

海王丸総帆展
 [10/3(日)・24(日)]

日本海カイトフェスティバル'99
 [10/10(祝) 10:00~16:00]
 スポーツカイトのデモンストレーションや
 体験教室など。

入園自由
 帆船海王丸は9:30~17:00
 月曜(10/11は開館)・祝日の翌日
 一般 400円 小・中 200円




県民会館美術館

県民会館開館35周年記念
 サントリー美術館所蔵
日本のやきもの名品展
 [10/17(日)まで]
 サントリー美術館の陶磁器コレクションの中
 から、各時代の優品100点を展示します。
 一般 700円/高・大 550円/小・中 350円

第45回一陽展 富山展
 [10/22(金)~11/7(日)]
 一般 500円/高・大 400円/小・中 250円

9:00~18:00
 会期中は無休




水墨美術館

近代陶芸の巨匠 河井寛次郎の世界
 [10/7(木)まで]
 一般 900円/高・大 650円/小・中 450円

遼寧省中国画像展
 [10/12(火)~18(月)] 観覧無料

「日本のわざと美」展
 [10/23(土)~11/23(祝)]
 一般 500円/高・大 400円/小・中 250円

9:30~17:00
 月曜(10/11、10/18は開館)・祝日の翌日
 常設展示観覧料(展示室以外は無料)
 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

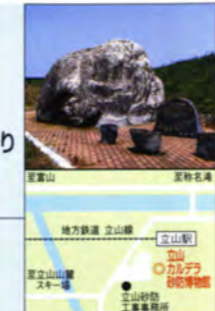


立山カルデラ砂防博物館

企画展「崩れ」
 幸田文が訪ねた日本の大崩壊地—
 [10/15(金)~12/26(日)]

第4回フィールドウォッチング
常願寺川の災害と治水にまつわる史跡めぐり
 [10/17(日) 8:50~16:00] 要申込
 一般(中学生以上)1,000円/小学生 500円

9:30~17:00
 月曜(10/11は開館)・祝日の翌日
 一般 400円 高・大 320円 小・中 200円
 ※企画展のみ観覧の場合は無料




こどもみらい館

造形発見広場「土」
 [10/24(日)まで] 材料代 200円

キネテックからくりアート展
木のからくりおもちゃ展
 [11/7(日)まで]

サウンドマーケット
 [10/17(日)~11/3(祝)]
 イントロクイズや太鼓の演奏教室など、音に関する
 楽しい遊びの広場です。参加無料

9:30~17:00
 火曜・第4水曜・祝日の翌日
 入館無料




県民公園太閤山ランド

公園街道を歩こう会
 [10/3(日) 9:00~16:00] 要申込 500円

とやまの木の祭典
 [10/16(土)・17(日)]
 「こどもの城づくりコンテスト」や「山の香味覚
 まつり」など「木」の良さを見つめ直すイベント

サイクリング秋の集い
 [10/17(日)] 要申込
 一輪車 500円/ネオセンチュリーラン 2,000円


9:00~17:00 火曜・祝日の翌日
 入館無料



情報工房

親子自然観察デジカメ記録
 [10/23(土) 10:00~16:00] 要申込
 ねいの里で昆虫や動植物をデジタルカメラ
 で撮影したあと、情報工房でパソコンを使っ
 てアルバムをつくりまわす。
 参加無料


9:30~17:00
 月曜(10/11は開館)・祝日の翌日・10/12
 入館無料



埋蔵文化財センター

特別企画展「花ひらく縄文文化」
 一境A遺跡と三内丸山遺跡—
 [10/14(木)~11/8(月)]
 青森県の三内丸山遺跡の貴重な資料に加え、
 新たに重要文化財に指定された朝日町の境A
 遺跡からの出土品を一堂に展示し、縄文人の
 豊かな生活文化を探ります。

9:00~17:00 会期中は無休
 入館無料



編集部から

健康診断で胃の検診車に乗り、バリウムを飲んでいたら、目の前に本誌裏表紙で連載している「とやま音のある風景」の切り抜きが張ってあってビックリしました。検査前にリラックスしてもらおうという気配りでしょうか。担当者としては、このような形で皆さんのお役に立てれば光栄です。ところで、この「とやまの音風景」について詳しく知りたいという問合せを時々いただきます。本誌で一度ご紹介すればよいのですが、なかなか都合がつかいません。早く知りたいという方は、最寄りの図書館にお出かけください。「とやまの音風景」50箇所すべてを紹介したCDを聴くことができます。ちなみにCDのナレーションは、テレビドラマ「古畑任三郎」などでおなじみの富山市出身の俳優、西村雅彦さんです。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所
 県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、ショッピングセンター、富山市民プラザ、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、高岡駅観光案内所、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法
 郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

※購読期間中は、通常版・各世帯版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の方だけで結構です。
 あて先
 〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

8月号プレゼント当選者
 ■和紙おわら切り絵うちわ
 木下琴恵さん(富山市)、佐脇幹夫さん(高岡市)、金川美紀さん(滑川市)、川本博美さん(大島町)、井上久子さん(庄川町)

教えて健康パーク Q&A

Q とやま健康パークでは一人ひとりに合った健康づくりが楽しめると聞きましたが、どのようなものでしょうか。(40代、女性)

A ■健康パークでは、皆さんの健康状態に合わせて、図のような5つのメニューを用意しています。備え付けのコンピュータで自分の血圧や体調などを入力すると、それに合ったメニューが提案されます。いずれも経験豊かなインストラクターが丁寧に説明しますので、これまで本格的な運動をしたことがないという方も大丈夫。どうぞお気軽に健康づくりをお楽しみください。

健康づくり体験ツアー ※赤字のプログラムは有料です。

汗かきツアー(体力の保持増進のためのプログラム)

ステップふみ	約20分	マシニング	約10分	温泉・サウナ浴	約50分
ジョギング	約20分	ダンベル運動	約10分	マッサージ・つぼ刺激	約15分

エンジョイツアー(楽しさ、気持ちよさを重視したプログラム)

水中ウォーキング	約20分	水中ストレッチング	約10分	フローティング	約15分
自転車こぎ	約20分	トレーニング(筋肉リラックス)	約15分	芳香療法	約20分

ストレス・疲労回復ツアー(心身の疲労回復のためのプログラム)

ウォーキング	約20分	発声法	約5分	ボディソニック	約20分
自転車こぎ	約20分	精神集中法	約20分	芳香療法	約20分

ナイスミドルツアー(生活習慣病予防のためのプログラム)

自転車こぎ	約25分	ダンベル運動	約10分	温泉・サウナ浴	約55分
腰痛予防運動	約10分	水中ウォーキング	約25分	マッサージ・つぼ刺激	約15分

はつらつツアー(高齢者を対象とした生活体力維持のためのプログラム)

気功体操	約20分	マッサージ・つぼ刺激	約15分
ウォーキング	約25分	温泉・サウナ浴	約35分

●問合せ・ご意見は、とやま健康パークまで
 ☎ 076(428)0809



とやまの情報お伝えします!【10月の県政番組】

※タイトルは、いずれも仮題です。

こんには富山県です	北日本放送テレビ	毎週日曜 11:00~11:30
富山見たモン勝ち	チューリップテレビ	第4日曜 10:00~10:52

3日 デザインによる産業支援
 10日 遼寧省との友好15周年
 17日 ふるさと探訪(砺波市)
 24日 NEAR21(北東アジア経済交流EXPO)
 31日 介護保険

とやま超発見! フォーカス・イン2 富山テレビ 毎週日曜 9:00~9:30

3日 スカイスーツ
 10日 2000年国体に向けて
 17日 ローカル列車で行こう
 24日 道の駅 Part II
 31日 とやまの畜産

このほか、県からのお知らせは、新聞広報やインターネットでもお伝えしています。

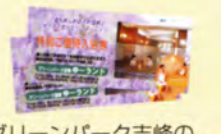
■新聞広報「県からのお知らせ」
 毎月第二・最終土曜日の、北日本・読売・富山・北陸中日・朝日・毎日の各新聞朝刊に掲載
 ※掲載日は変更される場合があります。

■富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ 応募お待ちしております。

NEAR21展示商談会に企業が参加する北東アジア4カ国はどこでしょうか。
「中国、モンゴル、韓国、○○○」
 とお答えください。
 →答えは特集を読めばわかります。

■応募方法
 ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業と、本誌の感想・入手方法を記載。
 あて先/〒930-8501(住所不要)
 富山県庁広報課「県広報とやま10月号」クイズ係
 締切/11月4日(消印有効)
 正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介したグリーンパーク吉峰の天然温泉「ゆーランド」ペア入浴券をプレゼントします。



次回は11月・12月合併号(通常版)として、11月10日に発行の予定です。



とやま 音のある 風景

ひそやかに、深く、
自然に抱かれて。

Vol.17

菅沼合掌集落の虫の声と庄川のせせらぎ
●上平村

リリリリ、リリリリ。リー、リー。軽やかに鈴を振るような虫たちの声が、高く余韻を残し、重なり合う。茅葺きの合掌屋根が寄り添うように並ぶ菅沼合掌集落。ここでは、秋は駆け足で深まっていく。険しい山並みと峡谷を持つ五箇山では、ほとんどの集落は庄川が形成したわずかな平坦地につくられた。右岸にひっそりとたたずむ菅沼集落は、北から東に変わる流れに優しく包まれている。

かつては、どの集落にも合掌造りの家屋が並んでいた。アマやソラアマと呼ばれる屋根裏では養蚕を行い、床下では火薬の原料となる塩硝えんじょうを作り、土間では和紙を漉すいた。急勾配の屋根に美しく映える切り妻の白い障子は養蚕のための採光窓、合掌造りは自然と生活が調和した機能的な構造をしている。

茅は、ほぼ二十年ごとに葺き替えられる。十月の中旬には刈り取りが始まり、秋晴れの日、男たちは屋根を葺き、女たちは茅を送る。集落の人々はこの作業を、「結ゆい」と呼ぶ助け合いで行ってきた。合掌造りは、人と人をも結んできたのである。厳しい自然と風土に、知恵とやわらかな心を持って生きてきた人々。世界遺産に登録された今も、人々は静かに自然とともに暮らす。祈る形とも言われる合掌集落は、無心に天に祈り続けている。

※県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。